

奈良市総合計画審議会(第3回) 会議次第

令和元年 11 月 25 日(月)午前 10 時～
奈良市役所 北棟 6 階 第 21 会議室

1. 奈良市第5次総合計画「未来ビジョン」
都市の将来像とまちづくりの方向性について

奈良市総合計画審議会第3回 会議資料

- ◆ 資料1 奈良市第5次総合計画 未来ビジョン
「第一章 未来ビジョンについて」
- ◆ 参考資料1 まちの指標（市民意識調査）属性ごとの集計結果
- ◆ 参考資料2 奈良市第5次総合計画 目次及び序論（案）
- ◆ 参考資料3 都市の将来像・まちづくりの方向性 補足資料
（スローガン、説明文、背景にある思い）

第2章 未来ビジョンについて

1 未来ビジョンの目的

未来ビジョンでは、10年後に目指す都市の将来像と、その将来像を実現するためのまちづくりの方向性を示すとともに、それを具体的な施策展開につなげていく上での前提となる本市を取り巻く社会情勢の変化や、本市における様々な課題認識を明らかにすることを目的としています。

2 未来ビジョンの目標年度

未来ビジョンの目標年度は、2030年度（令和12年度）とします。

3 都市の将来像

都市の将来像は上記の目標年度に向けて目指す奈良市の未来の姿です。第5次総合計画ではその策定段階から様々な市民参画手法を通じて市民と行政がともにまちの未来の姿を考えました。それらの思いをもとに、次のとおり将来像を設定します。

「わたし」からはじめる「わたしたち」のまち 奈良

ひとりひとりが「わたし」の人生をつくっていくように、「わたしたち」自身が主役となって夢や希望にあふれる未来をつくっていけるまちを目指します。

4 目指すまちづくりの方向性

都市の将来像の実現に向けて、具体的に以下の5つのまちづくりの方向性を目指します。

①誰もが子育てに関わり多様な生き方を認め合うまち

子どもをまちの未来そのものと捉え、家庭や学校だけでなく、地域のあらゆる人が子育てに関わります。多様な育て方を受け入れあうことで、育つ人も育てる人もその人らしく生きられるまちを目指します。

②地域の特性をいかした様々な働き方にチャレンジできるまち

歴史あるまちから新しいまちまで。まちなかから山里まで。それぞれのまちの特性に目を向け、その魅力をいかした奈良市ならではのしごとづくりの可能性を広げます。さらに、誰もが安心して自分が望むように働けるまちを目指します。

③誰かのやりたいことが他の誰かのやってほしいことになる機会をみんなであつくりたいまち

人とのつながりから生まれる楽しさや喜びを通して、まちへの愛着と誇り、生きがいを育みます。何かをしてみたいという思いや行動が他の人の求めることにつながり、充実したくらしを実現していけるまちを目指します。

④命と生活を守る方法を自分たちで生み出せるまち

安全・安心で快適な生活を持続可能なものとするため、知恵と力を合わせて自分たちの命と生活を守ります。それぞれができることを実践し、その積み重ねが土台となり、誰もが住みやすいと実感できるまちを目指します。

⑤互いのつながりを大切にし今と未来をともにつくり出せるまち

市民と行政の協働によって、ひとづくり、しごとづくり、くらしづくり、まちづくりを進めます。効率的にサービスを提供するとともに、健全な行財政運営を推進するまちを目指します。

まちの指標（市民意識調査）
属性ごとの集計結果

（2019 年と 2009 年の比較）

1. 住みよさの指標

【あなたは、奈良市に住んでよかったと思いますか】
(2019年)



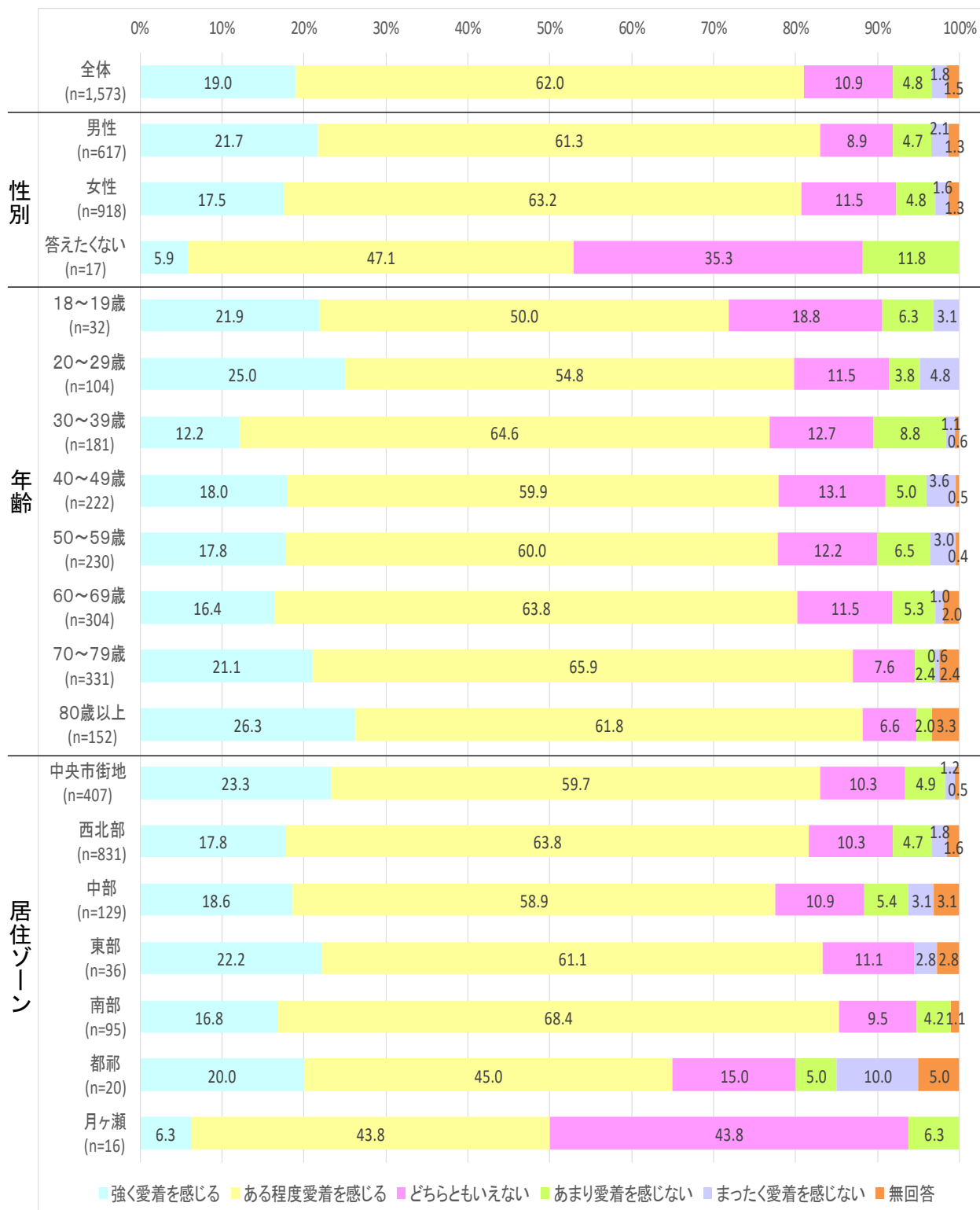
(2009 年)



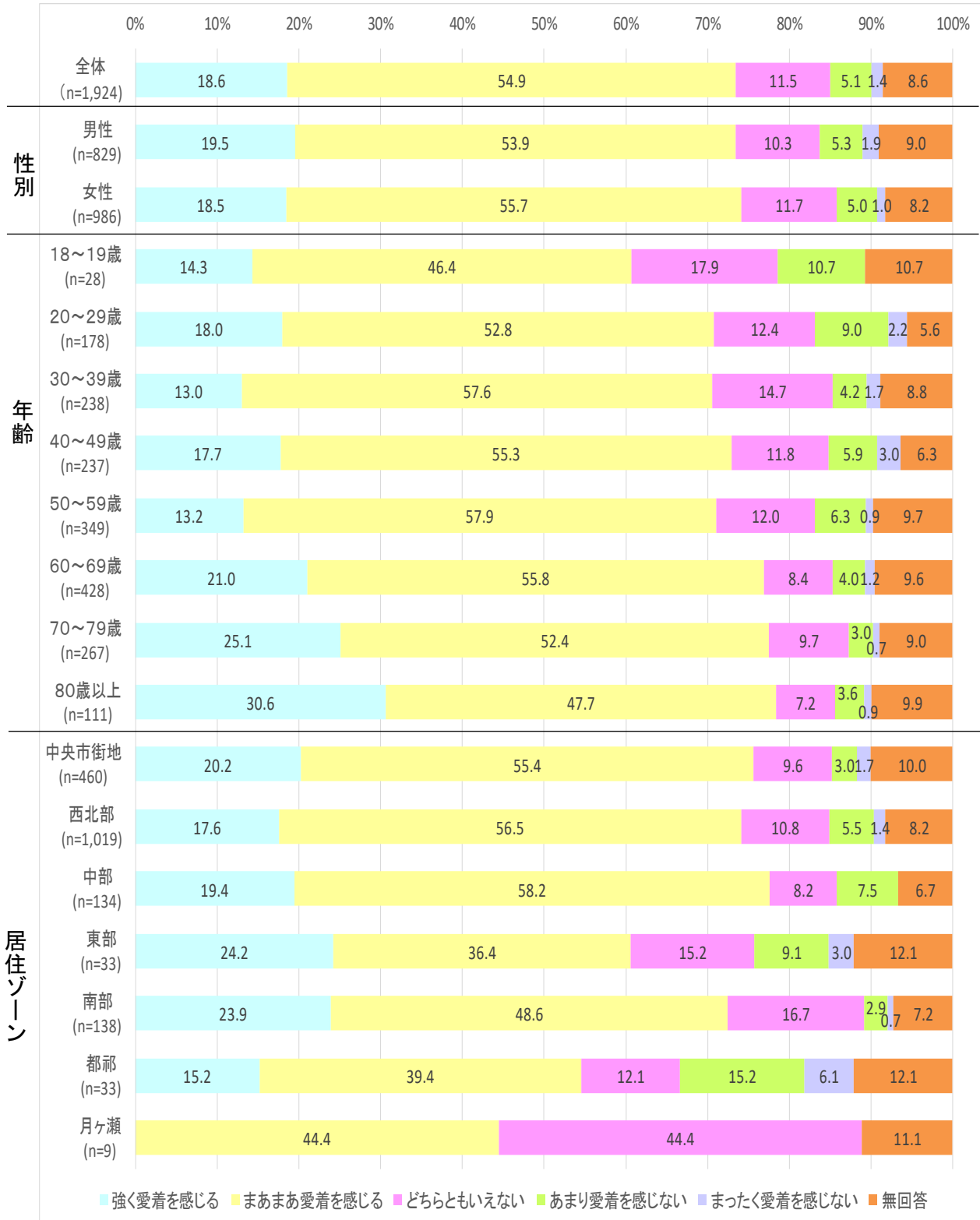
2. まちへの愛着の指標

①【あなたは、奈良市に愛着を感じていますか】

(2019年)

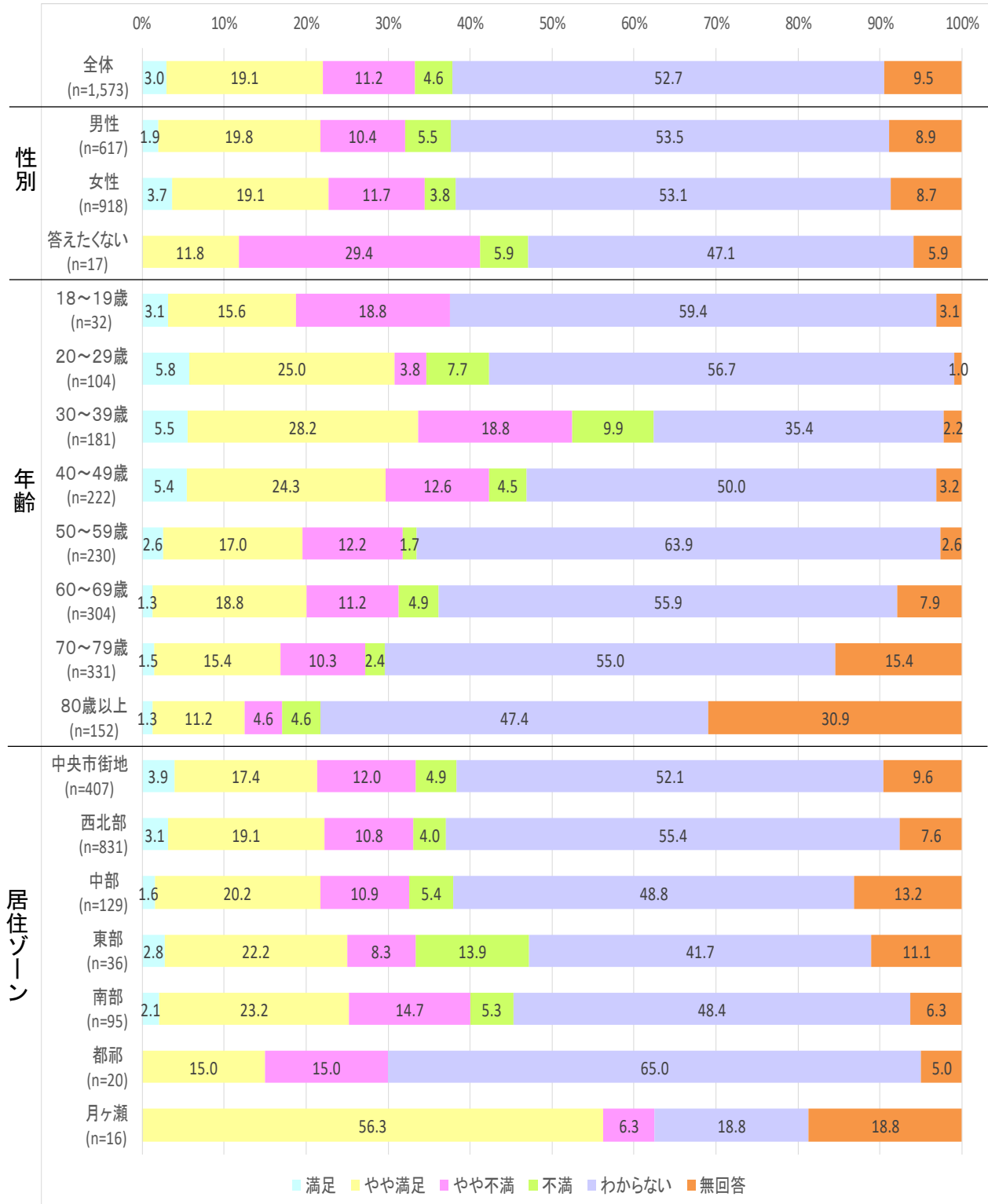


(2009 年)

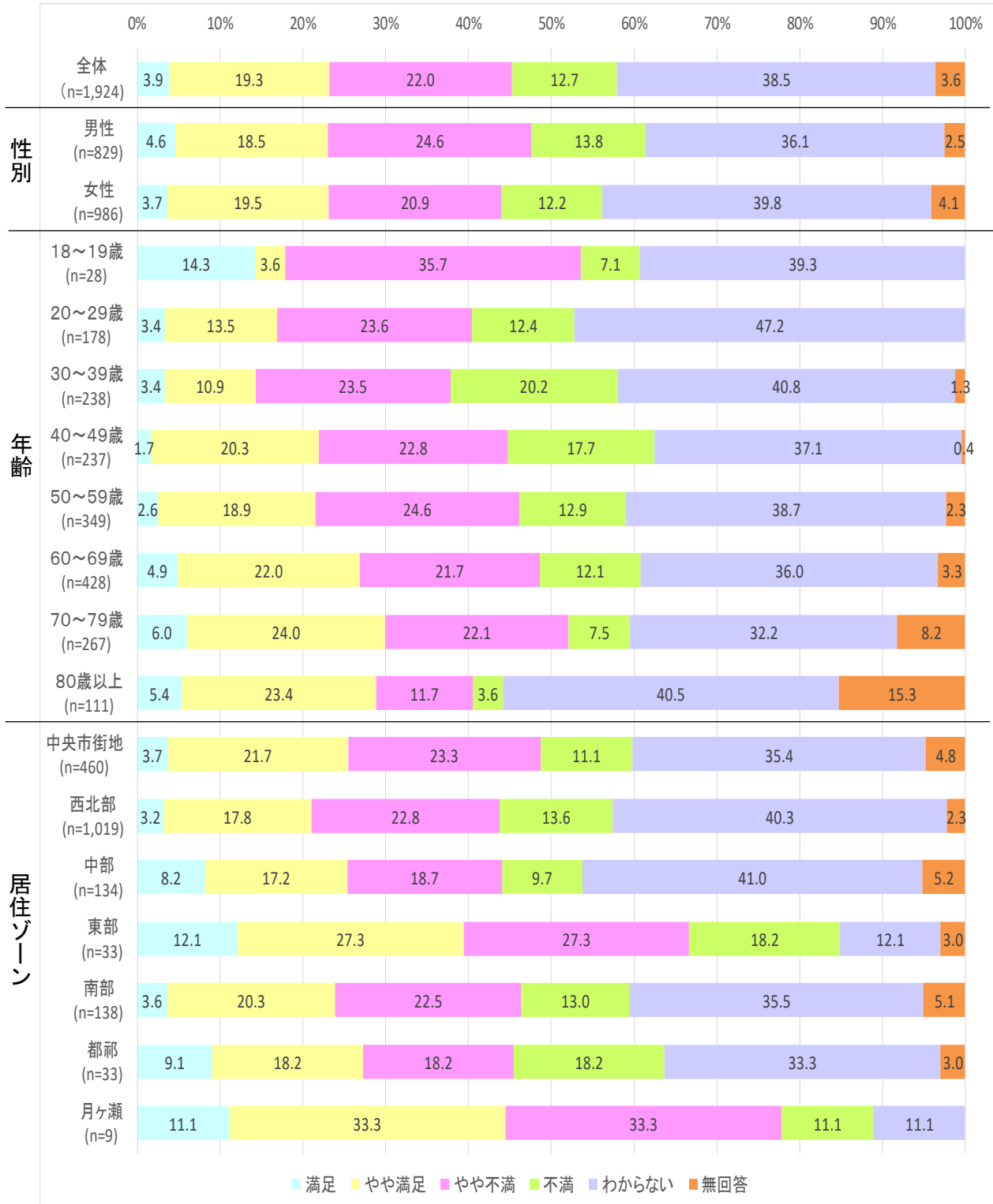


②【あなたは、奈良市が教育の充実のために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか<幼児教育の充実>】

(2019年)

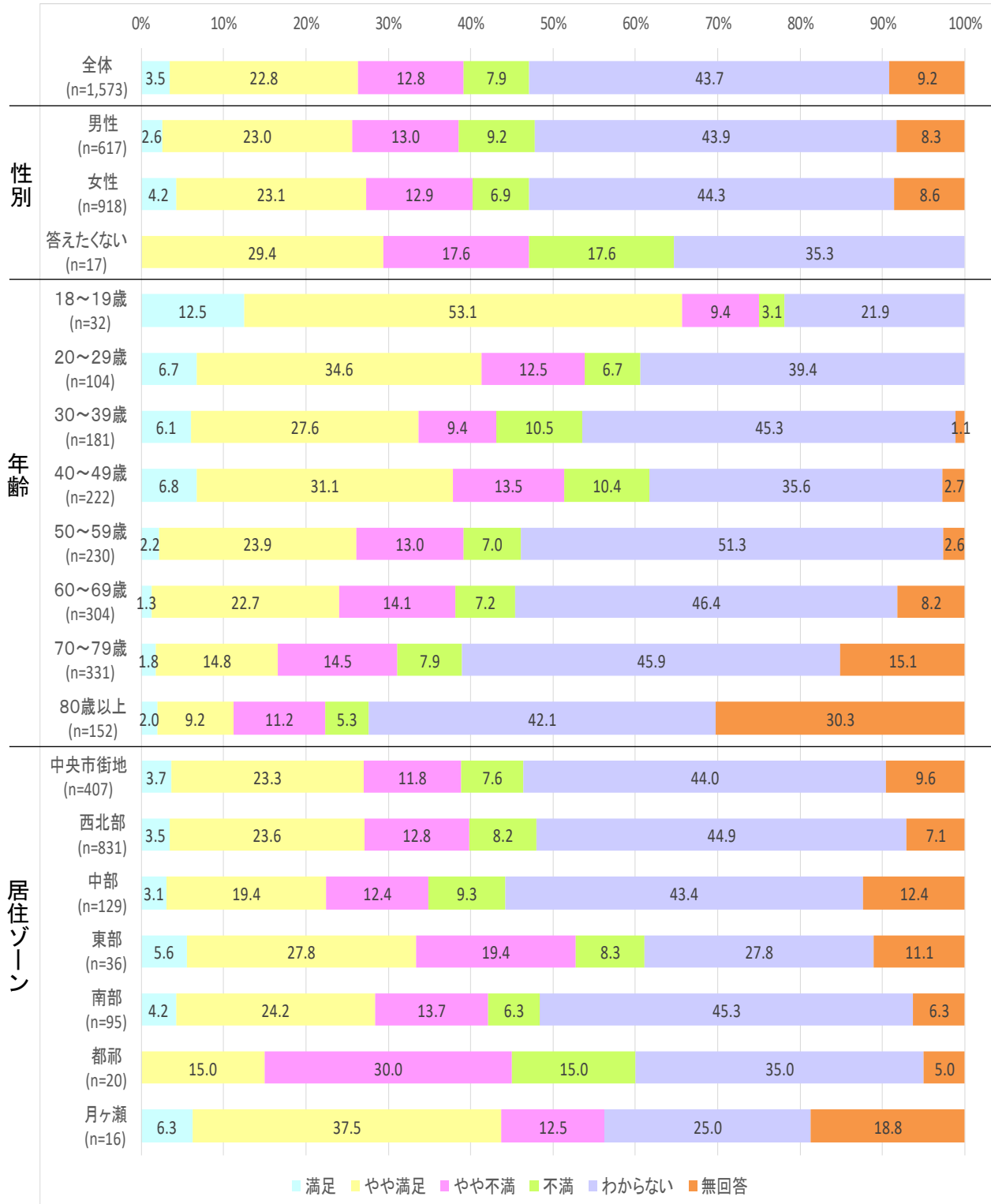


(2009年)

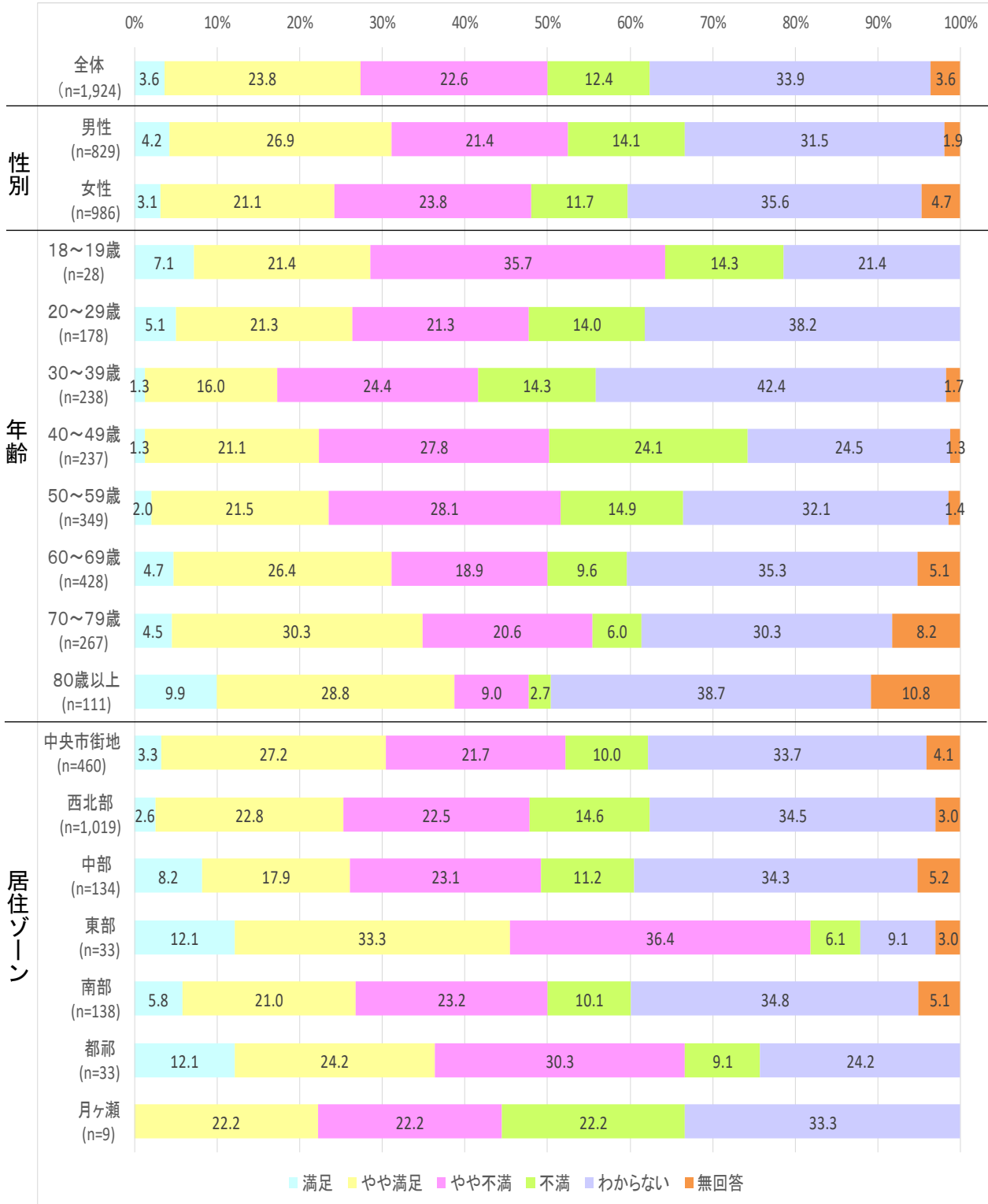


③【あなたは、奈良市が教育の充実のために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか<義務教育・高等学校教育の充実>】

(2019年)

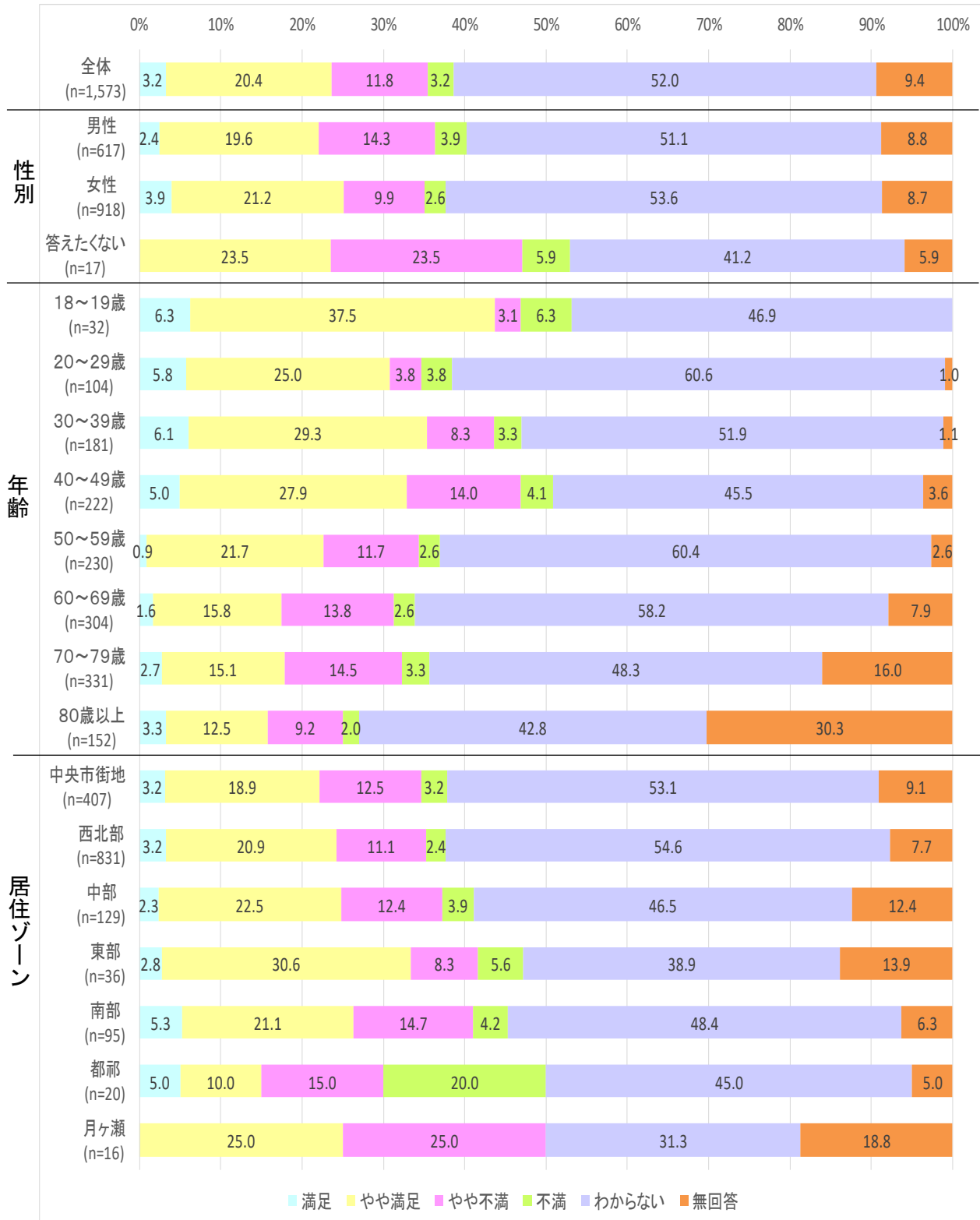


(2009年)

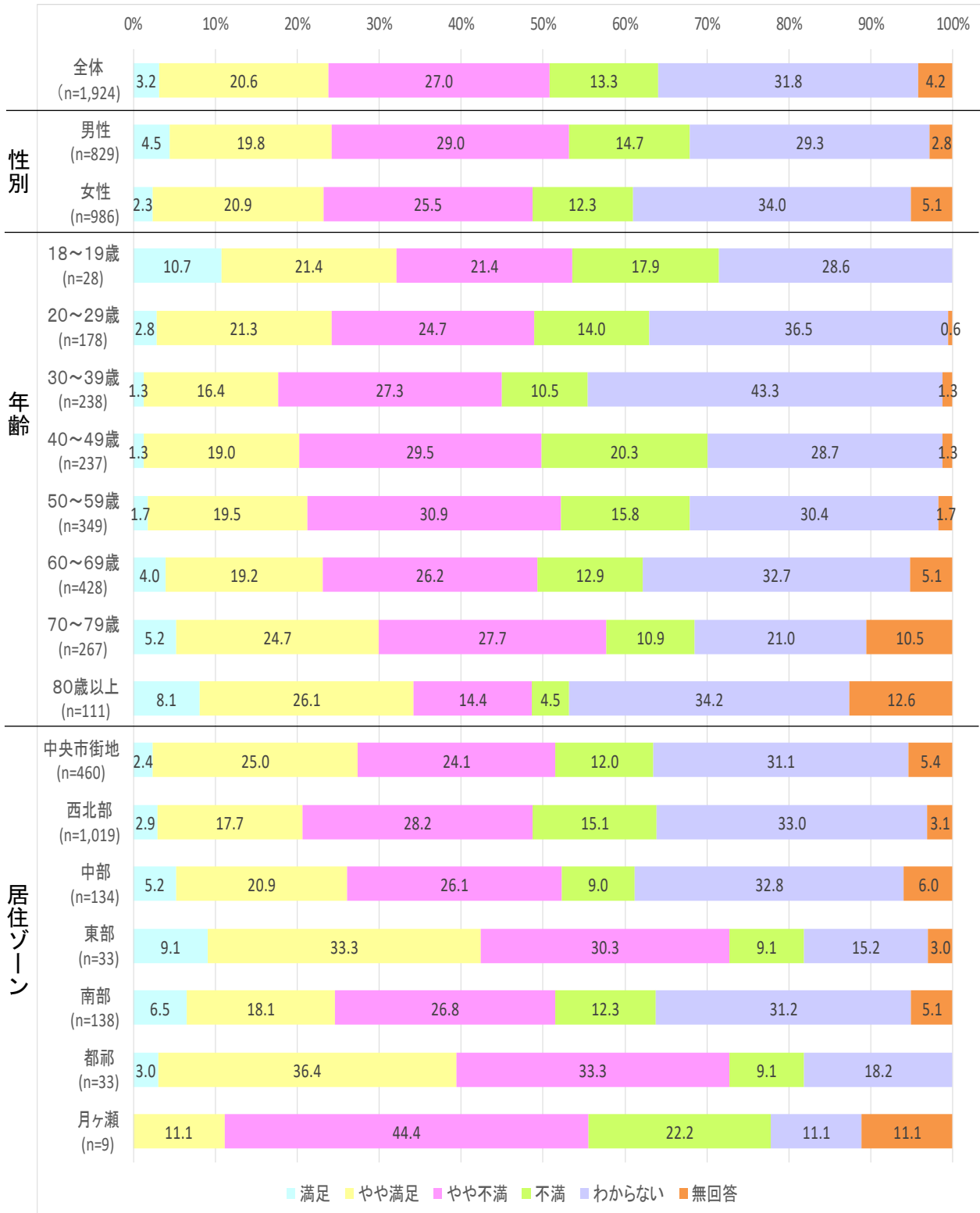


④【あなたは、奈良市が教育の充実のために取り組んでいる施策について、現状でどの程度満足していますか<青少年の健全育成>】

(2019年)

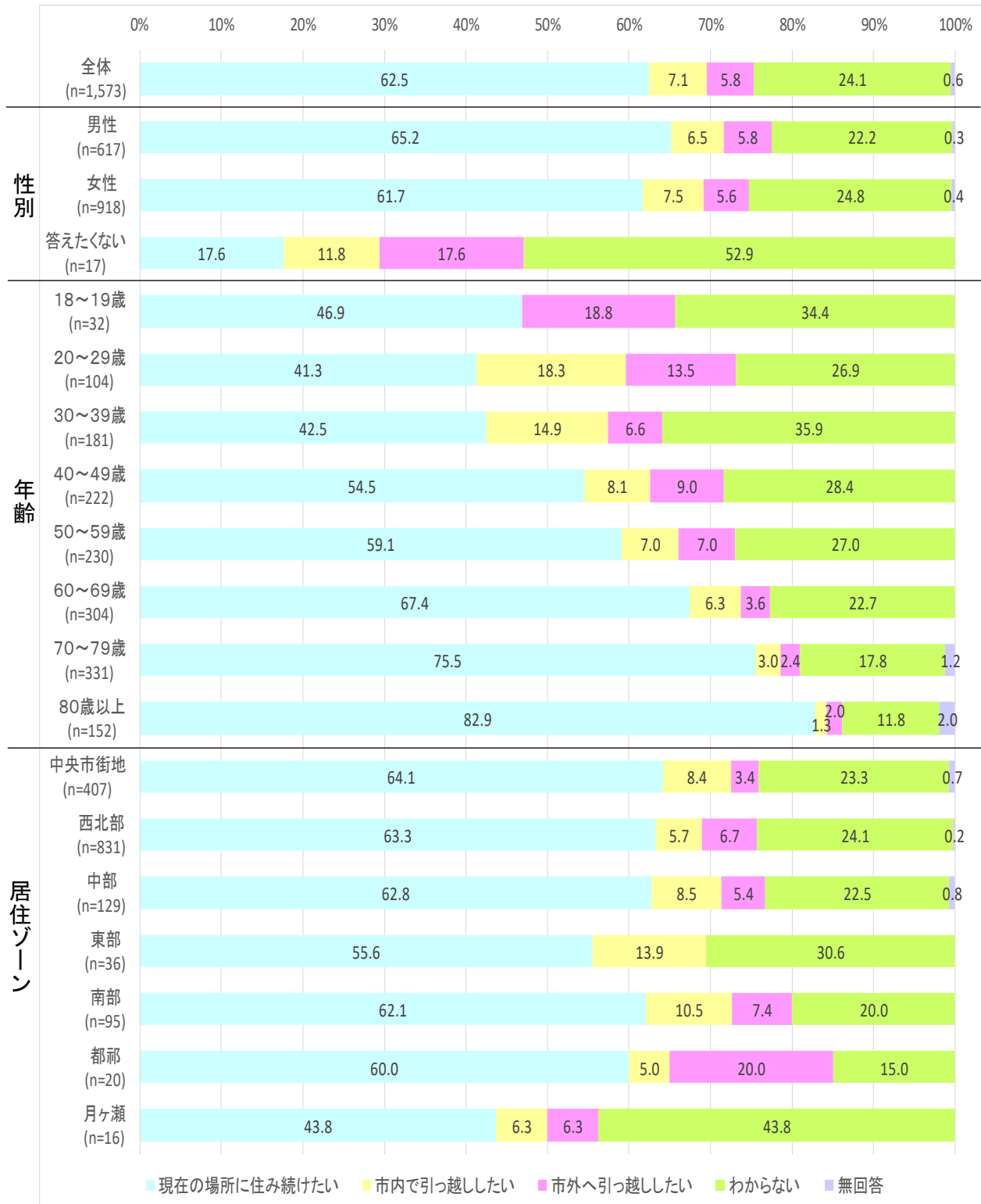


(2009年)

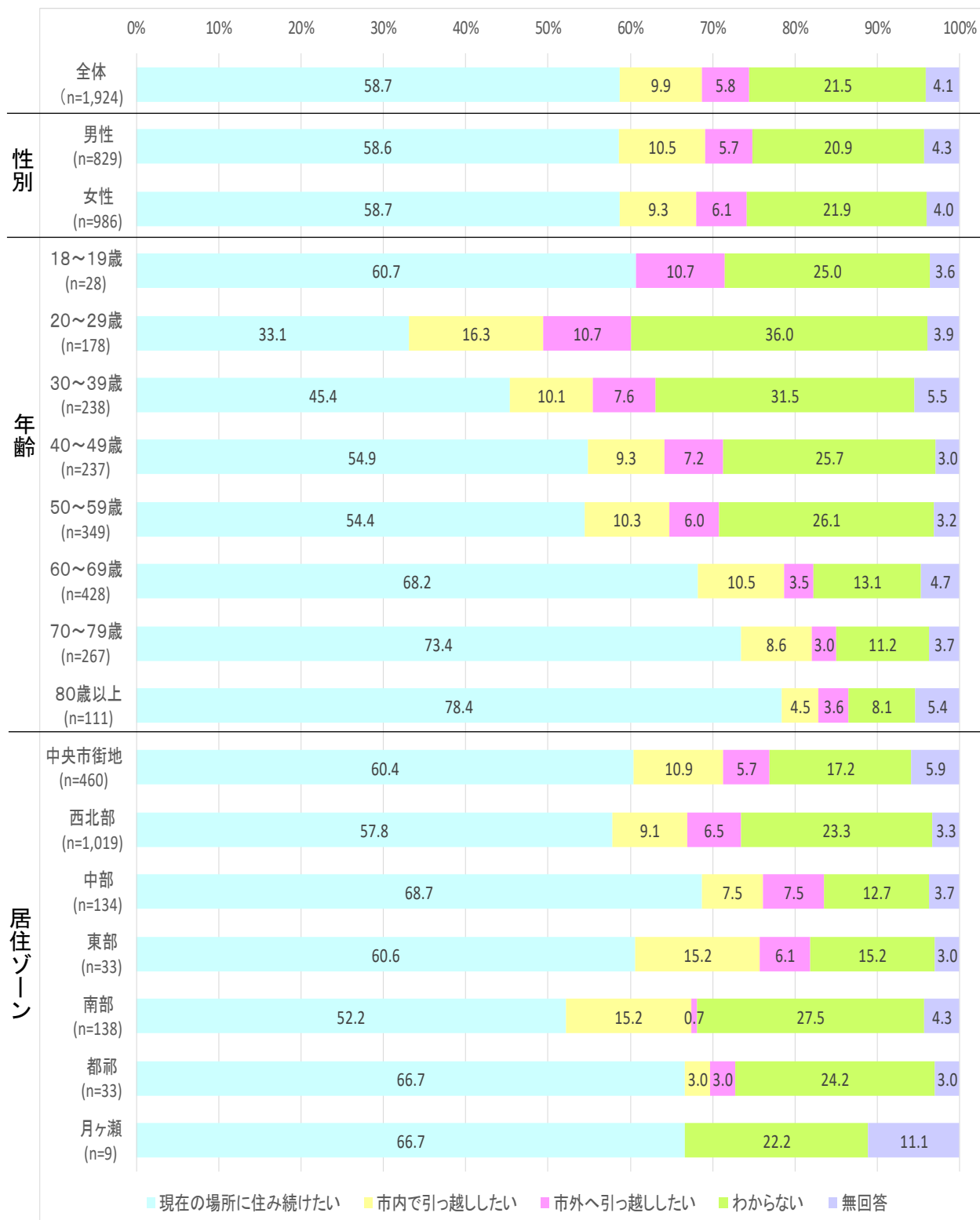


3. 定住志向の指標

【あなたは、現在住んでいるところにこれからも住み続けたいと思いますか】
(2019年)



(2009年)



4. 市政への関心の指標

①【あなたは、市政に関心がありますか】

(2019年)

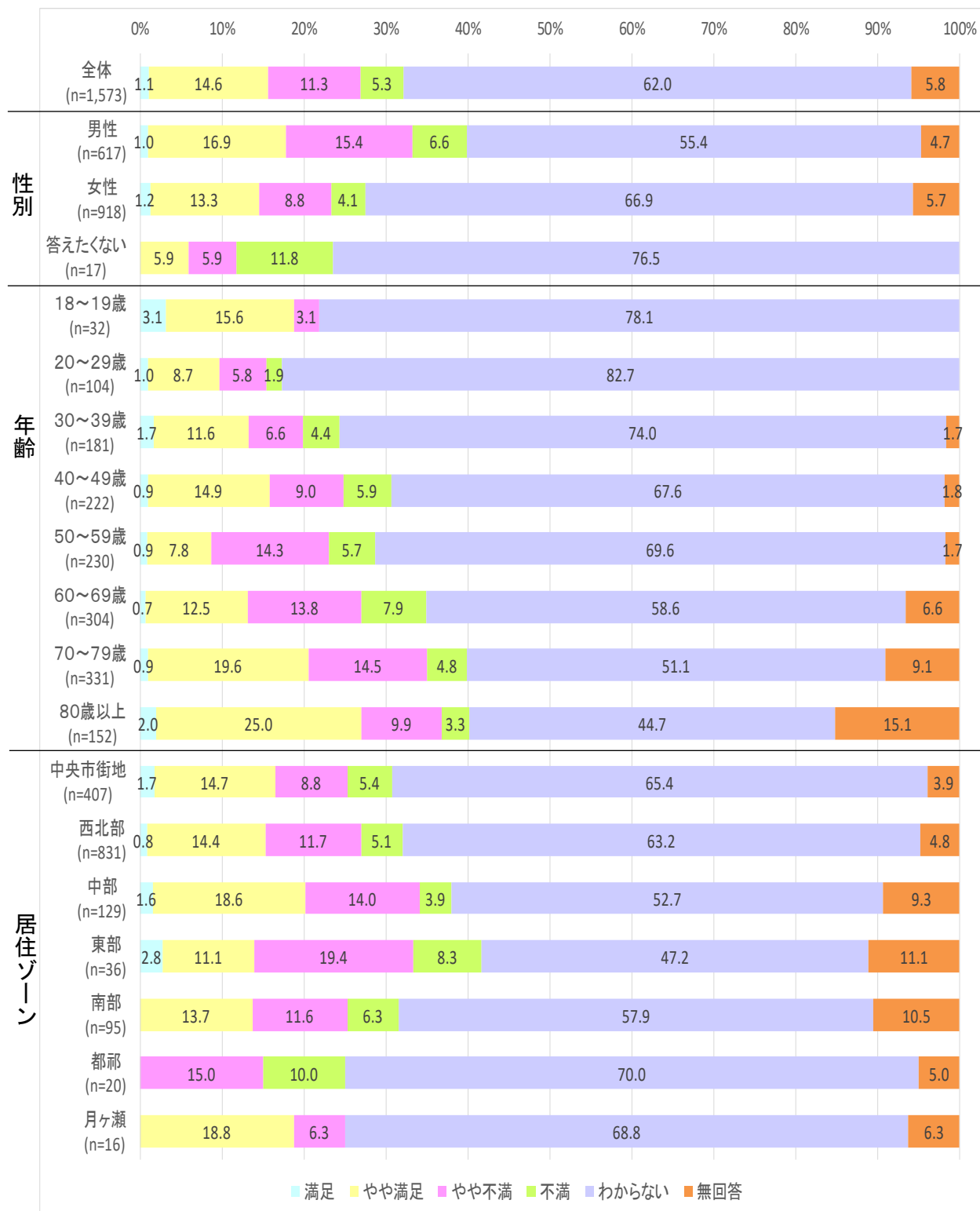


(2009 年)

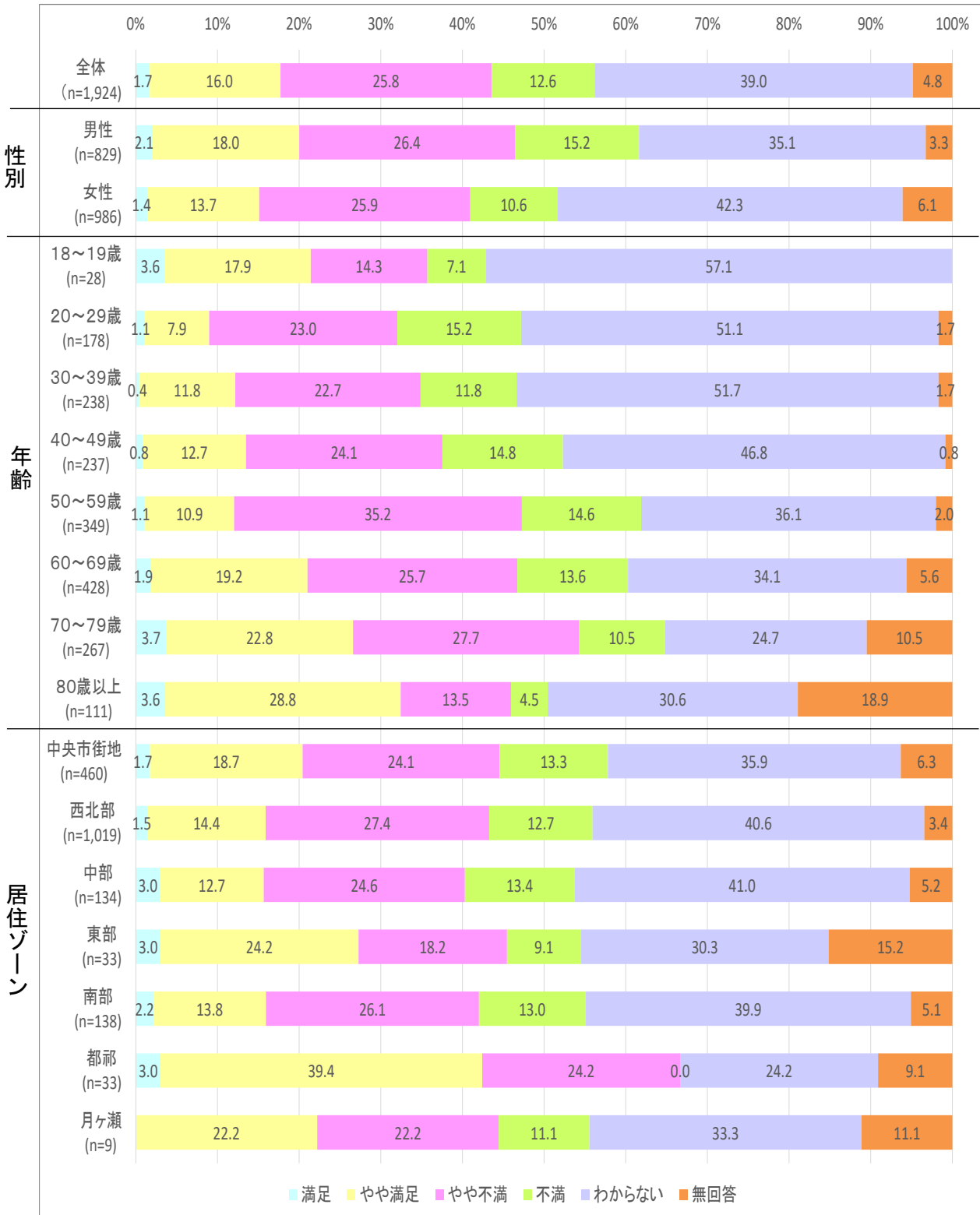


②【あなたは、奈良市の「市民と協働する市政の推進」に関する取組について満足していますか】

(2019年)



(2009年)



※居住ゾーンについて

2019年実施の「奈良市民意識調査」は、居住地域について中学校区単位で質問し、2009年実施の「奈良市次期総合計画策定及び水道に関する市民意識調査」は、居住地域について小学校区単位で質問しているため、この資料に記載している居住ゾーンについては、下表のとおり整理しています。

〈ゾーン分け〉

	2019年(中学校区)	2009年(小学校区)
中央市街地	若草、春日、飛鳥、三笠	鼓阪、鼓阪北、飛鳥、済美、済美南、椿井、佐保、大宮、佐保川、大安寺、大安寺西
西北部	富雄、富雄第三、富雄南、京西、伏見、二名、登美ヶ丘北、登美ヶ丘、平城西、平城東	伏見、伏見南、西大寺北、六条、あやめ池、鶴舞、青和、平城西、登美ヶ丘、東登美ヶ丘、鳥見、三碓、富雄南、富雄北、富雄第三、二名、佐保台、神功、右京、朱雀、左京
中部	都跡、平城	都跡、平城
東部	田原、興東館柳生	田原、柳生、興東
南部	都南	辰市、明治、東市、帯解、精華
都祁	都祁	並松、都祁、吐山、六郷
月ヶ瀬	月ヶ瀬	月ヶ瀬

目 次

序論

奈良市第5次総合計画策定にあたって

- 1 総合計画とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 2 総合計画の策定経緯と奈良市第5次総合計画策定の背景・・・・・・・・●
- 3 総合計画の構成と期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 4 まちづくりの歩みと奈良市が大切にすべきもの・・・・・・・・・・・・●

未来ビジョン

第1章 現状の認識

- 1 人口の減少と少子高齢化の進行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 2 情報社会のさらなる進展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 3 経済環境と働き方の多様化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 4 市民の安全・安心を取り巻く環境の変化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 5 環境問題への取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 6 持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 7 協働のあり方の変化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 8 健全な財政運営の実現・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●

第2章 未来ビジョンについて

- 1 未来ビジョンの目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 2 未来ビジョンの目標年度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 3 都市の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 4 目指すまちづくりの方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●

推進方針

第1章 推進方針について

- 1 推進方針の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 2 まちの指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 3 重点戦略・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●

- 4 まち・ひと・しごと創生総合戦略との連携・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 5 国土強靱化計画との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 6 SDGsとの連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 7 体系図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●

第2章 施策

- 1 子育て、教育、人権、男女共同参画（ひとづくり）・・・・・・・・●
 - 1. ○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
 - 2. ○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 2. 観光、産業・労働、農林業（しごとづくり）・・・・・・・・●
 - 1. ○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
 - 2. ○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 3. 生きがい、文化遺産、福祉・健康、地域活動（くらしづくり）・・・・●
 - 1. ○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
 - 2. ○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 4. 安全・安心、環境・衛生、都市基盤（まちづくり）・・・・・・・・●
 - 1. ○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
 - 2. ○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 5. 協働、行財政改革（行財政運営）・・・・・・・・・・・・・・・・●
 - 1. ○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
 - 2. ○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●

第3章 計画の実現に向けて

- 1 取組の推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●

【附属資料編】

- 1. 根拠条例・規則等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 2. 策定経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 3. 市民参画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 4. 指標一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●
- 5. 関連する個別計画一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・●

序論 奈良市第5次総合計画策定にあたって

1 総合計画とは

総合計画は、市政運営の根幹となるまちづくりの目標を明らかにし、これを達成するための基本方針を示すものです。

2 総合計画の策定経緯と奈良市第5次総合計画策定の背景

本市では、2011年（平成23年）に奈良市第4次総合計画を策定し、様々な施策を実施してきましたが、2020年度（令和2年度）に最終年度を迎えます。

この間、少子高齢化や人口減少の全国的な進行、地球規模での環境問題の深刻化や大規模自然災害の発生、IT技術革新やSociety5.0、SDGs達成に向けた取組の必要性など、地方自治体を取り巻く社会や環境が大きく変化してきています。

また、地方分権の推進により、2011年（平成23年）に地方自治法が改正され、総合計画の根幹となる基本構想の策定義務が廃止されるなど、地方自治体の自主的な市政運営の幅が広がってきています。

このような状況において、これまでの計画の成果や課題と、20年～30年先の長期的な視点も踏まえた上で、今後10年間で市民と行政がともに目指す未来のビジョンとまちづくりの方向性を示すため、2021年度（令和3年度）を始期とする奈良市第5次総合計画を策定します。

【過去の計画等の変遷】

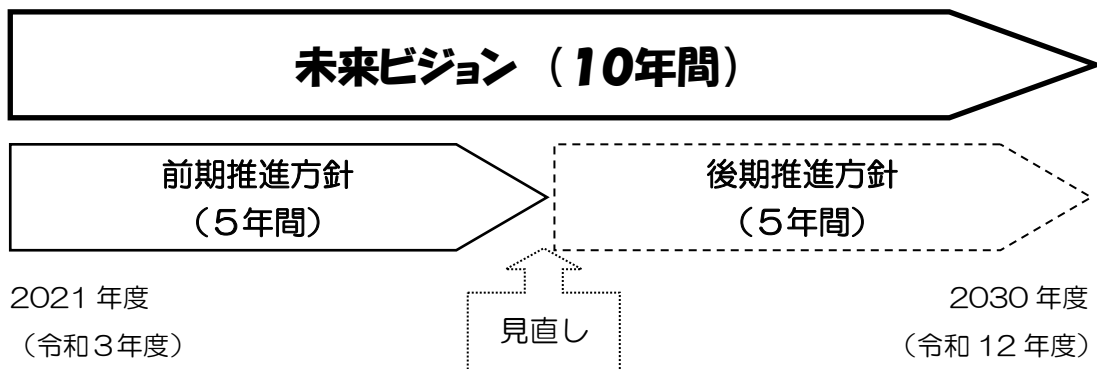
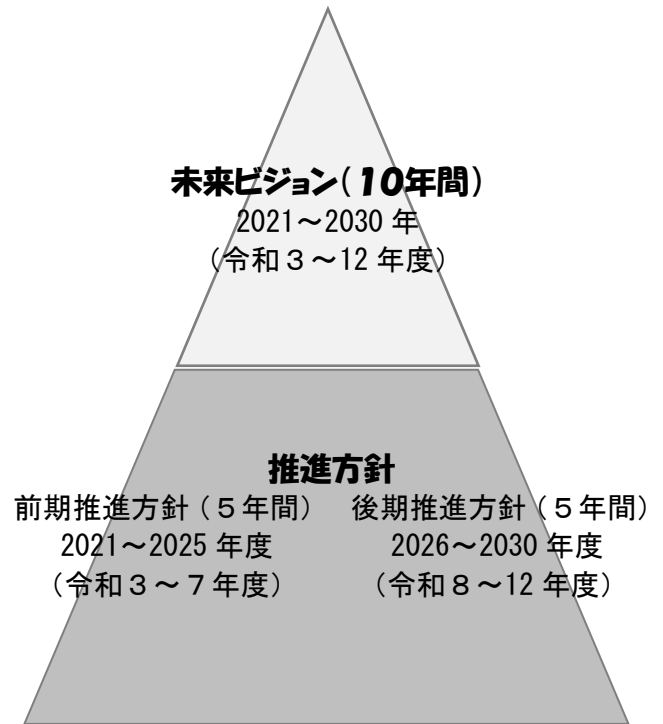
1982年 1984年	奈良市基本構想 奈良市基本計画 「未来にのびゆく国際文化観光都市 —伝統と調和のとれた住みよいまちづくり」
1991年	奈良市新総合計画 「歴史と自然と生活文化が織りなす、創造と交流の世界都市—奈良」
2001年	奈良市第3次総合計画 「世界遺産に学び、ともに歩むまち—なら」
2011年	奈良市第4次総合計画 「市民が育む世界の古都奈良 ～豊かな自然と活力あふれるまち～」
2021年	奈良市第5次総合計画 「「わたし」からはじめる「わたしたち」のまち 奈良」

3 総合計画の構成と期間

奈良市第5次総合計画は、市民の声を基に都市の将来像等を示した「未来ビジョン」とその実現に向けて取り組む施策の方向性を示す「推進方針」で構成し、市民にも行政にもわかりやすい計画とします。実現のための手段は、各分野における個別計画及び毎年度の予算編成で計画する事業で示していきます。

- (1) 未来ビジョン
未来ビジョンは、2030年度（令和12年度）を目標年度として、奈良市の都市の将来像を設定し、その実現に向けたまちづくりの方向性を示したものです。
- (2) 推進方針
推進方針は、都市の将来像及びまちづくりの方向性の実現に向けて、分野ごとに取り組む施策の理念を示すものです。
計画期間は、社会情勢や環境の変化への対応、また奈良市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間との整合などを考慮し、2021年度（令和3年度）から2025年度（令和7年度）を前期、2026年度（令和8年度）から2030年度（令和12年度）を後期とします。

奈良市第5次総合計画



	スローガン・説明文	背景にある思い
将来像 都市の	<p>「わたし」からはじめる「わたしたち」のまち奈良</p> <p>ひとりひとりが「わたし」の人生をつくっていくように、「わたしたち」自身が主役となって夢や希望にあふれる未来をつくっていけるまちを目指します。</p>	<p>《編集会議での主な意見等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の人生を自分で作れるまち。まちについてもじぶんごと、じぶんから動かすような思いをいれたい。 ・笑って、楽しい、夢や希望にあふれていて、みんなが主役であってほしい。誰一人残さないようにしたい。 ・総合計画書を開いた市民が「あ、じぶんのことだ」と思えるような言葉で表現したい。

	スローガン・説明文	背景にある思い
まちづくりの方向性	<p>①誰もが子育てに関わり 多様な生き方を認めあうまち</p> <p>子どもをまちの未来そのものと捉え、家庭や学校だけでなく、地域のあらゆる人が子育てに関わります。多様な育て方を受け入れあうことで、育つ人も育てる人もその人らしく生きられるまちを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育ては未来の担い手を育むことであり、そのためには安心して喜びを持って生み育てられる環境を整えていくことが必要。 ● また、子どもや親だけでなくあらゆる人が、子育てなど他者とのふれあいを通じて、生涯に渡り、互いに人間性や社会性を育みあっている。 ● そのような環境のさらなる充実に向けて取組を進めるとともに、これまで以上に人種、年齢、性別、障がいの有無などに関係なく、それぞれの夢や希望を互いに認めあい、かなえられるようなまちを目指す。 <p>《編集会議での主な意見等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てには“みんなで”“地域ぐるみで”“ともに密接に関わって”など関わりをもとめる声が多かった。子育ては親だけでなく誰もが関わるのが重要で、子育てに対する無関心をなくしたい。 ・近所付き合いから中学校区全体まで地域全体が関わられるようにしたい。 ・誰もが関わるには、それぞれ互いの違いや価値観を認めあえることが前提として必要。例えばルールから外れても幸せに生きていけるようにしたい。 ・子どもにとっても将来の選択肢が多いようにしたい。
	<p>②地域の特性をいかした 様々な働き方にチャレンジできるまち</p> <p>歴史あるまちから新しいまちまで。まちなかから山里まで。それぞれのまちの特性に目を向け、その魅力をいかした奈良市ならではのしごとづくりの可能性を広げます。さらに、誰もが安心して自分が望むように働けるまちを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市部から山間部まで、昔からあるまちから新しいまちまで、奈良市の持つ多様な地域特性が、観光業、農林業、商工・サービス業など様々なしごとの可能性につながっている。 ● こうしたしごとづくりを支援できるような体制が整っていて、可能性にチャレンジする人を受け入れられるようなまちを目指す。 ● 併せて、誰もが安心して働き続けられ、かつ、様々な働き方が選べるような環境づくりを進めていく。 <p>《編集会議での主な意見等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事がきちんとあってかつ安心して働き続けられるという両方の側面があるようにしたい。 ・地域の資源、例えばお茶生産やゲスト運営などに取り組みたい人がいたときに、そのチャレンジを支えられる環境があるようにしたい。 ・ローカルにすでにあるものを伸ばしていくことが奈良市ならではのしごと作りにつながるのでは。 ・全国的にロボット・AI化の進展が予想される一方で人の温かみやつながりなども大事にしていきたい。

**③誰かのやりたいことが
他の誰かのやってほしいことになる機会を
みんなで作ってついでいけるまち**

人とのつながりから生まれる楽しさや喜びを通して、まちへの愛着と誇り、生きがいを育みます。何かをしたいという思いや行動が他の人の求めることにつながり、充実した暮らしを実現していけるまちを目指します。

- いつまでも健康的で文化的で充実した暮らしができることは多くの人が求める願い。
- そのためには、やりたいときにやりたいことができることや、必要な時に必要なものが物理的にも精神的にも過不足なくあること、自身やまちのアイデンティティに誇りをもてるといったことがとても大切なこと。
- その実現には、誰かがやりたい（できる）ことが誰かのやってほしい（求める）ことに結びつくことが必要で、このような機会に満ちたまちをみんな目指す。

《編集会議での主な意見等》

- ・暮らしを楽しんだり、健康に暮らせる環境が整っていることが必要。
- ・自分だけでなく他者がいることがとても重要。そういった意味では“居場所づくり”や“コミュニティづくり”は“機会”とも言い換えることができる。
- ・障がいのあるなしに関わらずともに生きていけるようにしたい。
- ・やりたいことをやれることが大事であり、その状態を自分たちで作っていけるようにしたい。

**④命と生活を守る方法を
自分たちで生み出せるまち**

安全・安心で快適な生活を持続可能なものとするため、知恵と力を合わせて自分たちの命と生活を守ります。それぞれができることを実践し、その積み重ねが土台となり、誰もが住みやすいと実感できるまちを目指します。

- 生活する人や訪れた人が快適に過ごせるまち。その土台には様々な都市インフラがあり、それらを無理なく維持していくためには、ニーズに応じた整備を進めるとともに、一人一人がごみやエネルギー、身の回りの施設などに関心を持ち、できることから取り組むことが重要。
- また、犯罪や災害など命や生活を脅かす脅威は、未然に防ぐ努力をし、普段から備え、実際に発生した際には、みんなで助けあい、一刻もはやくもとどおりの生活を取り戻すことが必要。
- 命や生活を守るため、日頃から自分たちの持つ知恵や力を合わせて、安全・安心かつ持続可能なまちを目指す。

《編集会議での主な意見等》

- ・障がいの有無、国籍、社会的弱者など関係なく誰もが豊かに暮らせるようにしたい。
- ・若い人たちが流出せず、若い人たちが出ていきたくて思わないようになり、年少者も年長者も色々な世代がいるまちにしたい。
- ・生活者の声が反映されたインフラをみんなで作っていけるようにしたい。
- ・安心・安全、環境衛生などの実現は言い換えると命を守ること。また、都市基盤などは生活を守ることもいえる。

**⑤互いのつながりを大切に
今と未来をともに作り出せるまち**

市民と行政の協働によって、ひとづくり、しごとづくり、くらしづくり、まちづくりを進めます。効率的にサービスを提供するとともに、健全な行財政運営を推進するまちを目指します。

- まちづくりの方向性の①はひとづくり、②はしごとづくり、③はくらしづくり、④はまちづくりであり、その取組みを支える役割が必要。
- そのための大前提として新技術を取り入れるなど無駄のない効率的なサービス提供を進めるとともに、さらに健全な行財政運営を推進していく必要がある。
- 市民、事業者、団体、行政など地域の多様な主体が、力を合わせてまちづくりに取り組んでいく。

《編集会議での主な意見等》

- ・市役所はまちづくりの方向性を実現する土台となってその取組みをきちんとささえる役割がある。
- ・そのためには、健全な行財政運営の実現や、時代に応じた新技術を取り入れ、効率化された無駄のないサービス提供も進めていく必要がある。
- ・また、部署間連携をこれまで以上に強化したり、時代に応じた働き方の実現など職員自身が十分に能力を発揮できる環境づくりをさらに進めることも必要
- ・さらに、まちづくりの方向性を実現する主体は行政だけでなく、市民、民間など多様な主体が関わって実現するものであり、協働の視点もかかせない。